



内視鏡検査の紹介

鼻からの胃カメラを受けた患者さんの感想

※体質によってそれぞれ症状は変わりますので、ご承知下さい。

検査中でも、先生と話せるのに驚いた！
いろいろ聞きながら検査ができた！



鼻の麻酔でそんなに痛くなかった。

鼻からのカメラは初めてだったけど全然痛くなかった！



口からのカメラと違って「オェ」ってならない！

《大腸カメラ》

大腸がんの原因はポリープ？

近年、大腸がんを患う方が増えており、その原因として生活の欧米化により肉類などの高脂肪食品を食べる回数が増えていることが関係していると言われています。

また、大腸がんの多くは良性のポリープから進行してがんを発症すると言われていています。病気の早期発見はもちろんのこと、自覚症状（血便・排便障害）がなくても定期的に内視鏡検査をして、ポリープを発見・切除することも重要です。

胃カメラと違って下剤を飲んだり、専用の食事（消化の良い食品）を食べてもらうなど、事前の準備がありますが、苦痛が最小限になるように検査します。



《内視鏡検査件数》

平成30年度に診療所で実施した内視鏡検査件数は合計114件で、その内訳は口からの胃カメラ『24件』、鼻からの胃カメラ『78件』、大腸カメラ『12件』となっております。

内視鏡検査は、主に胃や腸などの消化器官に関する病気の早期発見・治療のためにを行います。

《胃カメラ》

胃の病気の原因はピロリ菌？
胃カメラで早期発見!!

正式名称「ヘリコバクター・ピロリ菌」。胃の粘膜に棲み続ける細菌で、中高年層では多くの方がこの「ピロリ菌」に感染しているといわれています。感染していれば必ず病気になるというものではありませんが、胃がんや胃潰瘍の原因の一つといわれています。

病気の早期発見はもちろんのこと、このピロリ菌を発見し除菌治療をすることが重要です。

診療所では鼻からの胃カメラも可能

鼻からの内視鏡は鼻の穴へスプレーをして出血を予防し、ゼリー状の液体を流し込んで局部麻酔をして検査を行います。麻酔に用いる薬が少量であるため、体への負担も少なく、口からの胃カメラよりも検査件数も多く、人気の検査となっております。



50歳以上の方は、がん検診での胃カメラが無料!!

昨年度より、50歳以上の町民の方は、がん検診での胃カメラが無料（2年に1度）となりました。定期的な健診を受けていない方や通院もしていない方は、病気が重症化しやすい傾向にあります。悪化してからの受診となると医療費がかさんだり時間や仕事などが制限され、生活苦に陥る場合もあります。

胃もたれや胃の痛み、血便などの症状にお困りの方、ご自身、ご家族、大切な方のために、まずは受診・検査予約をおすすめします。

ご不明な点などありましたら国保診療所まで、お問い合わせ下さい。



●お問い合わせ先

国保診療所

☎0146-47-2411

循環器診療のお知らせ

国保診療所では、社会医療法人北海道循環器病院医師2名による出張応援診療をして頂いております。

循環器診療とは、主に血液を循環させている管とポンプ、つまり心臓と血管を診察します。

- ①心臓そのもの（胸全体）が痛む、締めつけられる、重苦しい。
- ②背中が痛む。
- ③突然脈が速くなる、遅くなる。
- ④突然手足がむくんだ、痛む。
- ⑤お腹付近で拍動を感じる。
- ⑥息が苦しい。など

これらの症状を感じる方は心臓病・血管病の初期症状の可能性も考えられますので、気になる方は一度、受診をおすすめします。

○福山医師 毎月 第1週目

木曜日の午後・金曜日の午前中
○藤田医師 毎月 第3週目

木曜日の午後・金曜日の午前中
※変更になる場合がありますので、詳しくは診療所にお問い合わせ下さい。

町公式ホームページで診療所の情報も掲載しています

診療所の診療科・担当医師の診療予定表などを掲載しておりますので、随時確認して下さい。

町公式HP

